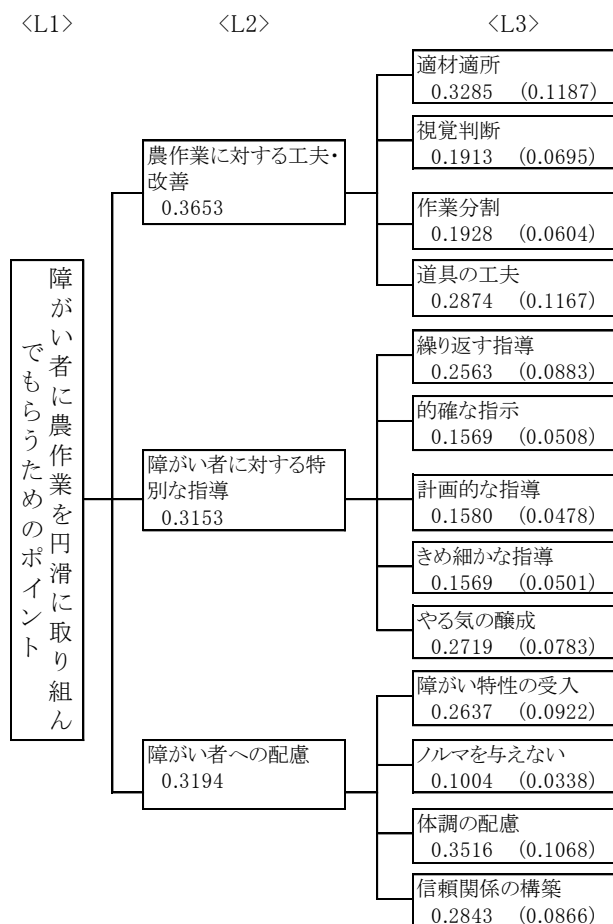


障がい者に農作業を円滑に取り組んでもらうためのポイント

障がい者に農作業を円滑に取り組んでもらうためには、障がい特性に応じた適材適所の人員配置や、使いやすい作業器具の工夫、改良に取り組むとともに、体調の配慮に気を付けることが必要であることが明らかとなりました。



◎三重県内で障がい者が農業に就労している事業体のうち、福祉事業所が農業に参入する 11 事業所と、障がい者を雇用する農業生産者等(法人・個人)の 6 事業体に、障がい者雇用で配慮すべき注意点や工夫などを聞き取り調査し、農作業を円滑に取り組んでもらうポイントを階層構造に整理しました。
*11 事業所の内訳: 就労継続支援 A 型事業所(3)、勤労継続支援 B 型事業所(6)、生活介護事業所(2)
*6 事業体の内訳: 農業法人(1)、農業生産者(3)、一般法人(2)

◎階層ごとの項目をAHPの重要度計算法による一対比較により相対重要度を算出したところ、L2 の階層では「農作業に対する工夫・改善」(0.3653)が最も重視されたものの、「障害者に対する特別な指導」、「障害者への配慮」とほぼ同程度の重要度となりました。

◎L3 の階層では、上位L2 の重要度を各々のウエイトとして乗じた総合重要度で全項目において比較すると、「適材適所」、「道具の工夫」、「体調の配慮」等が相対的に重要と評価されました。

図 1 農作業を円滑に進めるポイントの階層構造と相対重要度(平均値)

注) 数値は各ユニットの重要度、() は総合重要度

表 2 B 型事業所・生活介護事業所における農業部門売上額別の相対重要度

	農作業の工夫・改善				障がい者に対する特別な指導					障がい者への配慮			
	適材適所	視覚判断	作業分割	道具の工夫	繰り返す指導	的確な指示	計画的な指導	きめ細かな指導	やる気の醸成	障がい特性の受入	ノルマを与えない	体調の配慮	信頼関係の構築
売上額多	0.4305	0.1202	0.2725	0.1769	0.2081	0.1816	0.1062	0.1354	0.3686	0.3172	0.0520	0.2094	0.4213
売上額少	0.1888	0.1872	0.1357	0.4882	0.2816	0.1621	0.1745	0.1660	0.2158	0.2455	0.1986	0.3258	0.2301
	*	-	-	*	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注) 一対比較調査に回答の無かったKを除く、D~Jまでの7事業体を対象とする。

「売上額多」は、障がい者1人あたり25万円以上の農業部門売上額がある3事業所の平均値、「売上額少」は、25万円/人以下の4事業所の平均値。

* は5%水準で有意に差があることを示す。

◎売上額が多い就労継続支援B型事業所と生活介護事業所は、障がいの特性に応じた適材適所の人員配置を重視するのに対し、売上額の少ない事業所は道具の工夫を重視しています。

お問い合わせ先	地域連携研究課 糀谷 斉、飯場聡子	電話 0598-42-6356
参考になる資料	「農業分野における障がい者就労の事例集」 三重農研HP: http://www.mate.pref.mie.lg.jp/marc/KenSeika/index.htm	

